

No1タクシーネットワークを軸とした 持続可能な地域交通への取組み

2025年5月26日
第一交通産業株式会社
交通事業統括本部 古賀隆太



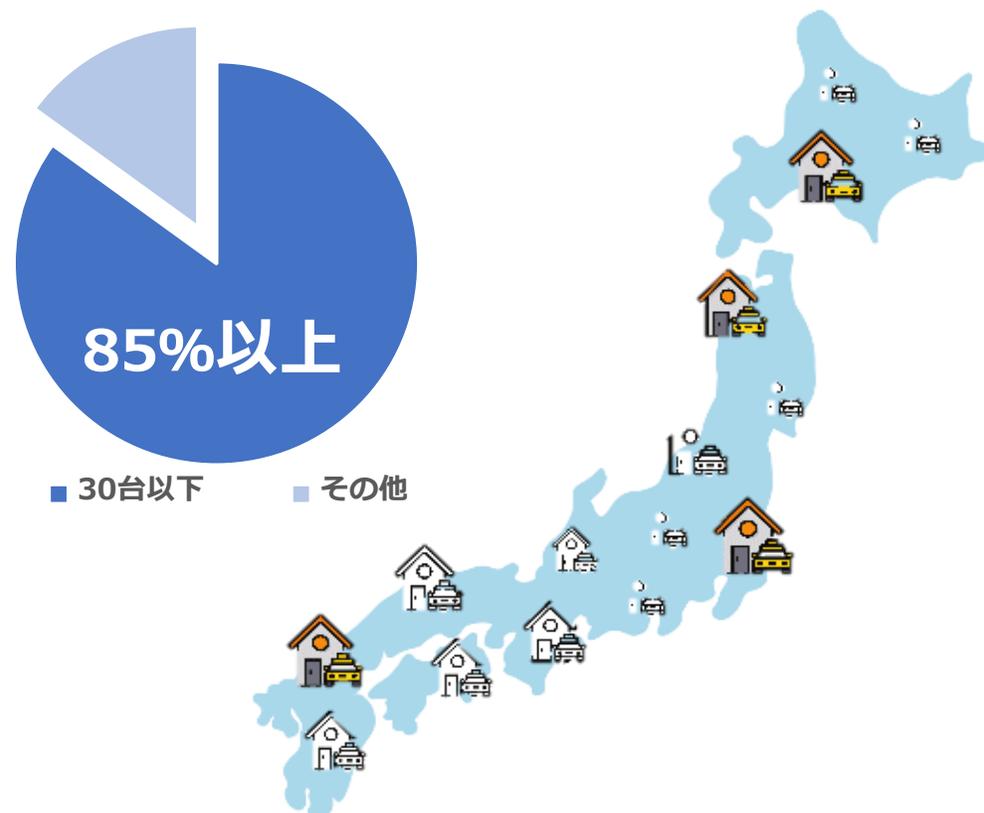
タクシー業界の現状と課題 ①

- タクシー業界は、多くが家業として営まれる小規模な事業者によって支えられており、地域の移動手段として重要な役割を果たしている

- 保有台数30台以下のタクシー会社が、業界全体の車両数の**85%以上**を占める→コストダウンが困難な状況

タクシー業界

車両台数	約20万台
会社数	約5,500社
営業区域	約630カ所



国土交通省 「交通空白」 解消に向けた対応

令和7年度～9年度を「交通空白解消・集中対策期間」として対策を強化

石破内閣総理大臣所信表明演説
(令和6年10月4日・抜粋)



五 地方を守る（地方創生）
「地方こそ成長の主役」です。地方創生をめぐる、これまでの成果と反省を活かし、地方創生2.0として再起動させます。
～略～
地域交通は地方創生の基盤です。全国で「交通空白」の解消に向け、移動の足の確保を強力に進めます。

「交通空白」 解消本部

「交通空白」 解消・官民連携プラットフォーム

解消本部と官民連携プラットフォームを両輪として、
「交通空白」 解消の取組を協力を推進

■ 地方運輸局・運輸支局による自治体、交通事業者への伴走支援

✓ 首長訪問、自治体との勉強会、タクシー協会への働きかけ等

■ 自治体・交通事業者と幅広い分野の企業・団体群との連携・協働体制

✓ 1,024会員（639市町村・47都道府県、交通関係97団体、57団体、パートナー企業184社、2025年3月14日時点）

+ 立ち上げに対する財政支援

例) 「交通空白」 解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト 事業など

「地域の足」「観光の足」の確保により、地方創生を実現

交通空白解消に向けた『北九州モデル』



2025年5月7日キックオフ

交通空白解消に向けた「北九州モデル」始動！

～官民連携プロジェクト～



国土交通省の「官民連携プロジェクト」に採択



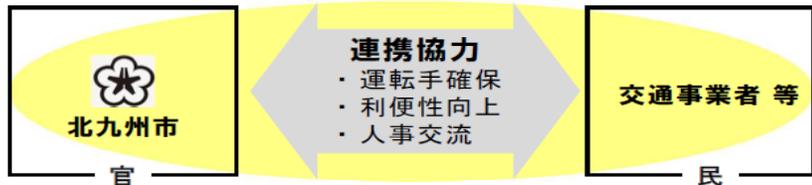
国土交通省

令和7年4月28日

令和7年度「交通空白」解消緊急対策事業に採択

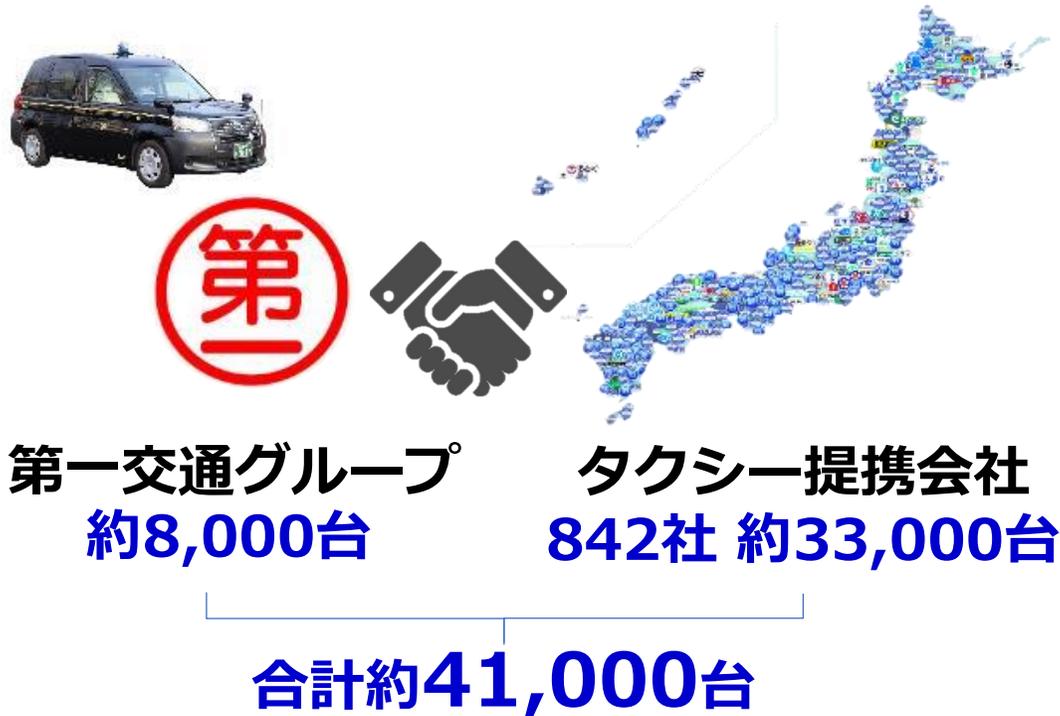
<実施体制>

(仮称)地域と守る公共交通 官民連携プロジェクト推進協議会



No1タクシーネットワークとは ①

- タクシー会社同士の相互協力を目的とし、**営業・サービスの連携**やスケールメリットを活かした資材調達(価格交渉・条件交渉)を行う→**互助会的な組織**
- **加盟料無料のネットワーク**
(入会料・年会費・成功報酬など一切なし)



地域の移動を守る共創ネットワーク

～貢献をテーマに「三方よし」のネットワークづくり～



賛助会員・連携会員



約**20社**



No.1タクシーネットワーク「感謝の集い」



北九州リモート管理センター(DX)



地域交通 (枝光地区)



次世代型タクシー営業所(GX)



●おでかけ交通 「枝光やまさか乗合ジャンボタクシー」の運行

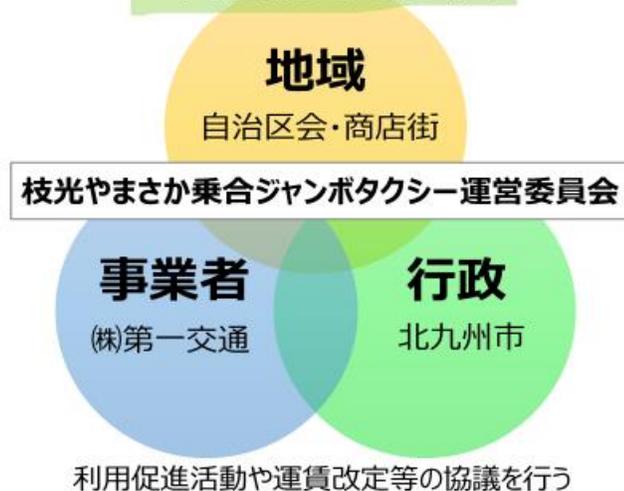


コムーター車両（乗客定員12名）2台で運行

坂上に住む交通弱者とお出かけ目的地を繋ぐ

- 2000年運行開始
- おでかけ目的地である商店街で始発終点
- 定時定路線、5路線、56便/日
- 8時30分～18時30分、日祝運休
- 運賃 200円/回、回数券、定期券

3者連携での運営



バス路線へ繋ぐ



- バス停の共有
- スマートバス停
大型路線バスとおでかけ交通の時刻表が同時に表示される

<利用者数実績>

	2022年度	2023年度	2024年度
年間利用者数	39,515人	38,373人	35,767人
1日平均利用者数	133.0人/日	130.5人/日	133.0人/日

● おでかけ交通の待合所＝商店街の休憩所



<待合所外観>



<コミュニケーションの場となっている>

● 商店街に隣接したコミュニティスペース運営



枝光本町商店街アイアンシアター

- 商店街隣接
- 新たなお出かけ目的地
- 劇場設備のある貸し施設
- 多目的コミュニティスペース
- 銀行跡地を改修
- 舞台事業者と共同運営

● 商店街を中心とした地域イベントの企画・参画



<2025年3月19日 夜市でのじゃんけん大会にタクマも参加>



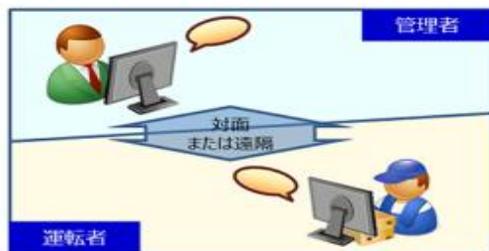
<市内の劇団による演劇上演>



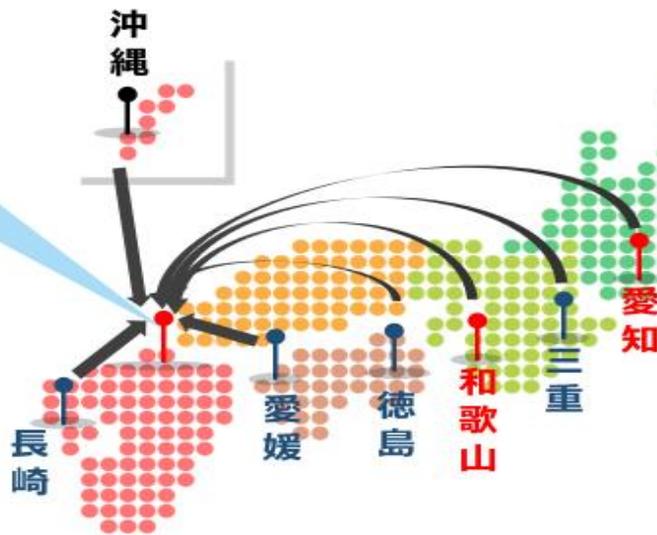
<地元アーティストによるワークショップ>

遠隔点呼・リモート配車 実施地域（北九州リモート管理センター受付）

7県13拠点で実施 【DX】



北九州リモート
配車センター



愛知地区：鯨第一交通

三重地区：三重第一交通

和歌山地区：熊野第一交通
白浜第一交通
御坊第一交通

徳島地区：徳島本社
鳴門営業所

愛媛地区：松山第一交通
すみれ第一交通
松山西第一交通
富士第一交通

長崎地区：島原営業所

沖縄地区：豊崎営業所

-  遠隔点呼実施
-  リモート配車実施
-  遠隔点呼・リモート配車実施地域

EV事業（2024年度EV導入台数合計95台）

【GX】

環境省
JATA補助金



GI基金事業



R6年度導入台数

57台



累計CO2削減効果

714 t



累計導入台数

127台

2024年度新車EV導入台数：**34台**
補助率：1/4

2024年度
普通充電器導入基数：33基
補助率：充電器1/2；工事1/1
補助金額交付決定：18,535,000円



「EV&充電器」セット導入

中古EV



R6年度導入台数

4台



付加サービス

芙蓉オートリース：SoH測定
三菱オートリース：再エネ証書提供

グループ会社EVタクシー導入台数合計

310台

●九州MaaS

- 2024年8月に my route アプリを活用し、サービスイン。(当社はモタク連携)
- 九州の自治体や交通事業者等、**104の団体**が参画。官民の共創・連携。
- 運営委員会の他、実効性のある取組を行うため、9つのWG (サブ含む) があり、**当社は「葉の交通WG」のリーダーとしても参画。**
- 来年度は枝光にて、お出かけ交通とスピナとの連携や西鉄バスのフリー乗車券でお出かけ交通も乗車できるよう、デジタルでも連携を図る。



フィジカルなくして、
デジタルなし！

●福岡県MaaS

- 令和6年度は my route で13種類44券種を発売。(当社はモタク連携)
- 交通情報のオープンデータ化、データの利活用の施策を講じ、県内6カ所で実証実験を実施。
- 令和7年度は新たに2つのPTを立ち上げ実装フェーズへ移行する。



構成委員企業	
西日本鉄道	
九州旅客鉄道	
昭和自動車バス	
JR九州バス	
甘木鉄道	
太陽交通	
第一交通産業	等

●大分県MaaS

- 朽網駅～大分・別府駅間のJR片道特急乗車券 + 西鉄バスの片道乗車券 (北九州空港特急きっぷ) や大分市や別府市内1日フリー乗車券等を my route にて販売。(当社はモタク連携)
- 大分第一ホーバードライブ**と**第一交通産業**が協議会に参画。



今後、ホーバークラフトも my route で乗船券を販売できるよう連携を図る。

●JAL MaaS

- 2024年2月より第一マリン (タクマ3) と JAL MaaS が連携。
- 月平均45枚を販売**。現状手数料0%→今後、手数料支払検討。

JAL MaaS



自動運転（豊見城市実証）

11

参加 団体

豊見城市

全体の事業企画・推進

第一交通産業

自動運転バスの役務提供、将来的な自動運転事業の運営

NEC

自動運転サービス、プラットフォームの提供

電脳交通

自動運転車両の遠隔監視者を提供

ティアフォー

自動運転車両およびシステムなど技術情報の提供

実証 内容

沖縄県初！！

生活路線のEV自動運転バス実証実験

運行形態：**定時定路線**

運賃：**無料**

ルート：第一交通産業グループ会社琉球バス交通が運行している**生活路線**105番豊見城市内一周線の一部 **約11.7km**

運行期間：

2024年10月8日（火）～11月1日（金）

実証 結果

乗車人数：**1,787名**

自治体、大学、一般企業等の視察約**70名**

満足度：

96%の方が満足、**92%**の方が再利用したい

自動運転率：**93%**

乗車目的：お買い物や通勤・通学・通院など